

別紙様式 1

令和元年度 指定管理者運営状況点検・評価シート

対象施設名	県立渦の道及び県立大鳴門橋架橋記念館	施設所在地	鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池
指定管理者名	株式会社ネオイベント及び一般財団法人徳島県観光協会参加グループ	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
施設所管課	にぎわいづくり課	【連絡先】	088-621-2148

1 施設の概要

設置年月日	大鳴門橋架橋記念館（エディ）・・・昭和60年4月23日 渦の道・・・平成12年4月22日
設置目的	大鳴門橋架橋記念館（エディ）・・・大鳴門橋の架橋の意義を後世に伝えるとともに、鳴門公園地区の優れた自然を理解させ、あわせて県の自然、歴史、民俗、産業等の紹介を行うために設置。 渦の道・・・渦潮をはじめとする鳴門公園地区の優れた自然及び大鳴門橋を間近に見学することができるようにするために設置。
施設内容	大鳴門橋架橋記念館（エディ）・・・RC3階・延床2,651㎡、4K360°シアターawaやPlay the Eddy!やアドベンチャーシミュレーター「うず丸」、屋上展望台等を有する。 渦の道・・・大鳴門橋橋桁空間に設置された延長450mの遊歩道、海上45mから渦潮を見下ろすことができる。
利用料金等	大鳴門橋架橋記念館（エディ）・・・個人（一般620円、中・高生410円、小学生260円）、団体（20名以上）は2割引、渦の道・・・個人（一般510円、中・高生410円、小学生260円）、団体（20名以上）は2割引、うず丸は別途料金で一般200円、小・中・高生100円、エディと渦の道のセット券・・・一般900円、中・高生660円、小学生400円
開館日・休館日等	大鳴門橋架橋記念館（エディ）・・・年中無休 渦の道・・・3、6、9、12月の第2月曜日

2 指定管理者の業務

指定管理者の業務内容	①徳島県立大鳴門橋架橋記念館の設置及び管理に関する条例第2条各号に掲げる事業の実施に関する業務 ②徳島県立渦の道の設置及び管理に関する条例第2条各号に掲げる事業の実施に関する業務 ③大鳴門橋架橋記念館及び渦の道の維持管理に関する業務 ④大鳴門橋架橋記念館及び渦の道の利用の許可に関する業務 ⑤大鳴門橋架橋記念館及び渦の道の利用料金に関する業務 ⑥その他大鳴門橋架橋記念館及び渦の道の管理に関し、知事が必要と認める業務
------------	---

3 施設の管理体制

管理体制	正職員 7 名 嘱託 7 名 臨時職員 7 名 計 21 名
	正職員7名、嘱託7名、パート7名の計21名 両施設共通の館長・1名、マネージャー、運営チーフをおき、受付や展示解説。観光案内等の業務は正規職員・嘱託職員等のローテーションで対応している。

4 施設の利用状況

利用者数 (人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	令和元年度	59,384	82,522	40,753	48,744	92,207	54,782	52,388	54,403	37,629	37,375	33,640	33,819	627,646
	前年度	57,395	68,711	38,413	41,495	87,960	44,504	45,249	49,335	34,687	34,790	33,477	60,304	596,320
	前々年度	49,977	72,301	37,229	49,734	94,941	46,776	45,549	48,274	27,930	26,219	27,112	52,175	578,217

月別利用 料金収入 (千円)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	令和元年度	23,348	32,476	16,139	19,379	36,253	22,263	20,509	21,890	15,092	15,257	13,989	13,997	250,592
	前年度	23,494	27,636	15,641	16,959	35,104	18,227	17,083	19,214	13,596	13,925	13,761	24,192	238,832
	前々年度	19,722	29,057	14,924	20,167	37,868	18,857	18,021	19,667	11,373	10,772	11,253	21,400	233,081

施設毎 利用料金収入 (千円)		エディ	渦の道				計
	令和元年度	35,342	215,250				250,592
	前年度	38,137	200,695				238,832
	前々年度	24,167	208,914				233,081

5 収支の状況

(単位：千円)

項目		令和元年度	平成30年度(前年度)	平成29年度(前々年度)
収入	指定管理料			
	利用料金収入	250,592	238,832	233,081
	事業収入	1,282	586	383
	その他			
	計	251,874	239,418	233,464
支出	県への納付金	94,408	93,741	92,296
	人件費	55,078	54,232	50,227
	管理運営費	86,083	85,980	84,532
	事業費			
	その他			
	計	235,569	233,953	227,055
収支		16,305	5,465	6,409

6 コスト削減・サービス向上に関する取組状況

コスト削減の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗品費等について、こまめな点検・まとめ買いにより、可能な限り経費削減を図る。 ・ 社内通達、回覧資料はスキャン・メールを活用し、ペーパーレス化を図る。 ・ エコアクション21の取り組みにより、光熱水費などの削減を図る。 ・ 繁忙・閑散期に合わせたアルバイト起用、雇用形態変更などの工夫により経費を圧縮する。 ・ フレキシブルな勤務ローテーションで時間外勤務を減らし人件費削減を図る。 ・ 外部委託を行う際は、項目を細かに精査し、自社で対応可能なものは対処する。 ・ 鳴門公園内の案内チラシ作成では、近隣店舗から協賛金を募り、経費削減に繋げる。
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNSを活用し、渦潮の見頃時間やイベント情報等をタイムリーに発信 ・ ホームページでの多言語情報の公開 ・ SNS映えを意識し、「阿波踊り法被、お遍路の白装束」等を着用して写真撮影できるスポットの設置 ・ 鳴門公園コンシェルジュ(観光ボランティア)による観光ガイドツアーの実施 ・ 鳴門公園地域渋滞対策業務として臨時駐車場を設けシャトルバスを運行 ・ 外国人観光客へのおもてなし、案内を充実(定住外国人アルバイトの雇用、外国語版ガイドマップ等の作成) ・ 渦の見頃に合わせた早朝開館・開館時間延長の実施 ・ 「エディ」の多目的スペースを利用して企画展を実施 ・ 周辺店舗や宿泊施設と連携し、周辺マップ「鳴門公園うずうず散歩道」を刷新

7 自主事業の取組状況

自主事業取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファミリー向け展示物の設置 ・ 「折紙の日」イベントを実施 ・ 迎春イベントの実施 ・ 阿波踊りの上演 ・ インターンシップの受け入れを実施 ・ 空きスペースを活用し、フォトコンテスト等を実施 ・ 観光ボランティア「鳴門公園コンシェルジュ」による観光案内の実施 ・ 館内エントランス部で四季折々の装飾を実施 ・ 遊歩道及び休憩所を利用した卒業旅行イベントの実施
----------	--

8 管理運営業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	多言語に対応した定置式アンケートや聴き取りアンケート等により利用者ニーズの把握に努めるとともに、SNSによる情報発信や国内外の旅行エージェントへの営業活動を行い、ニーズに対応したサービスの提供に努めている。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	A	年度当初に提出された業務計画書に基づき、自主事業を実施している。 また、継続事業についても内容の見直し・改善を行うなど工夫している。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	管理運営業務要求水準書に基づき、専門業者による施設の保守管理、メンテナンス等を適切に行っている。修繕が必要となった場合は早急に対応し、事故の発生を防いでいる。 施設備品についても老朽化等により使用不可となったものには早急な対応を行っている。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	令和2年2月から3月は新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に利用者が減少したが、1月までは好調であったことに加え、事務所運営費の削減に努めることで、収支では黒字となっている。 また、外部委託の見直し、他施設と連携した経費の削減及び繁忙期・閑散期にあわせた職員及びアルバイトの配置などによりコスト削減に努めている。
⑤管理運営体制等 ・管理運営業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	管理運営業務体制報告書記載のとおり、職員が適正に配置されていることを確認した。研修についても積極的に実施されている。 また、両施設の入館報告書等により施設の利用料金が適切に徴収されていることを確認した。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	管理運営業務体制報告書記載のとおり職員の配置、業務内容であった。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	職員について積極的に地元雇用が行われている。 外部委託についても可能な限り県内企業に委託しており、地元企業への業務委託が行われている。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	周辺施設との共通チケットを販売するなど、地元団体との連携に努めている。 ゴールデンウィークやお盆等の繁忙期における渋滞対策について、近隣店舗等との意見交換を積極的に実施している。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	事故発生時の緊急連絡体制や、自然災害などのあらゆる非常事態に備えたマニュアルが整備されている。また、個人情報の取扱いについても規定を整備し、適正な対応が図られている。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	エコアクション21に基づく取り組みや、環境イベント、環境研修を実施するなど、環境対策が実施されている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	関係法令を遵守し、適正に管理されている。
総合評価	A	概ね協定書の内容のとおり成果があり、適切な管理が行われている。令和2年2月から3月は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、団体客のキャンセル等により、利用者が大幅に減少したものの、商談会等への参加や旅行エージェンツへの継続的な誘致活動及び情報発信等による利用促進が図られており、令和2年1月までは好調であったため、前年度より入場者数が増加している。

- 〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容とおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

- ・渦の道も施設設置後20年が経過し、施設の老朽化が進んでおり、修繕が必要な状況になってきている。指定管理者との連携を密にして、計画的に修繕を行っていく必要がある。
- ・更なる利用者数及び利用料金の増加につながる誘客活動を継続して行う必要がある。